

授業科目名	日本教育史演習
科目番号	CB22022
単位数	1.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	通年 集中
担当教員	平田 諭治
授業概要	時代状況と関連づけながら、近代以降「教育」に枠づけられる、人間形成の展開・構造・特質を探究する。日本の「学校」の位相を中心に、専門的な論文や資料を用いて検討・考察する。
備考	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識、教育学における総合的思考力、教育学に関する先導的発信力
授業の到達目標(学修成果)	日本教育史の基礎的知見を習得し、その文献や資料に親しむようになるのがねらいであり、歴史的視野から教育や学校について思考し、展望することの意義が理解できるようになるのが目標である。
授業計画	時代状況と関連づけながら、近代以降「教育」に枠づけられる、人間形成の展開・構造・特質を探究する。日本の「学校」の位相を中心に、専門的な論文や資料を用いて検討・考察する。受講者による発表・討議形式を中心に行う。 初回時に授業の説明、教科書の紹介、発表担当の決定、受講アンケートなどを行うので、必ず出席すること(欠席者は、以降の受講を認めない)。
履修条件	
成績評価方法	授業への取り組みと参画姿勢を考慮したうえで、毎時の課題達成度によって評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	毎回テキストの予習と事前準備が必須である。
教材・参考文献・配付資料等	初回時に指定する(必携であり、各自で購入して用意すること)。
オフィスアワー等(連絡先含む)	事前にメールで連絡すること hirataug at human.tsukuba.ac.jp
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	受講者は主体的かつ積極的なとりくみが求められ、原則として欠席は認めない(正当な事由のある場合は、それを明記した欠席届を提出すること)。歴史に強い興味・関心のある者や、高等学校等での日本史履修者が適している。受講者数が多い場合、3年次以外は受講制限を加えることがある。日本教育史の授業を履修していることが望ましい。試験の代替措置等は一切行わない。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	日本, 教育, 学校, 近代, 歴史